

よみきかせボランティアのための



おすすめえほん

2018
春号

小学1・2年に
おすすめ

『ほね、ほね、きょうりゅうのほね』

バイロン・バートン/さく かけがわやすこ/やく
ポプラ社(約2分)



「ほねは ないか、ほねは ないか」とシャベルやツルハシを持った人たちが、恐竜の骨を探して、博物館に運んで組み立てるというシンプルなストーリー。簡潔でリズムカルな文章と黒い縁取りと明るい色の力強い絵が読み聞かせにぴったりです。恐竜王国福井の子どもたちにぜひ出会ってほしい一冊。



子どもに読み聞かせをする人のための
参考資料⑫

『サンタクロースの部屋』 松岡享子/著 こぐま社

子どもを本の世界に誘い込むために大人が配慮すべきことは、子どもと本についての第一人者松岡享子氏の、子どもと本、子どもの言葉についてのエッセー集。出版40年を迎えてなお、古びることのない普遍性を感じる一冊です。



『ラン パン パン インドみんわ』

マギー・ダフ/さいわ 山口文生/やく
ホセ・アルエゴ、アリアノドウィ/え 評論社(約9分)

王様に女房をさらわれ怒ったクロドリは、「ランパンパン」と太鼓をたたいて宮殿へ向います。途中出会った、ネコやアリ、木の枝や川がクロドリの間仲間になって、クロドリの中にはいります。奇想天外なストーリーと、繰り返される「ランパンパン」の響きが印象的なインドの昔話の絵本です。



小学3・4年に
おすすめ

小学5・6年に
おすすめ

『ギルガメシュ王ものがたり』

ルドミラ・ゼーマン/文・絵 松野正子/訳 岩波書店(約13分)



太陽神から遣わされたメソポタミア王ギルガメシュは、人間の心を知りませんでした。王は自分の力を示すため高い城壁を造らせ人々を働かせ続けました。疲れ果てた人々が太陽神に助けを求めると……。5000年以上前に粘土板に記されたギルガメシュ叙事詩をもとにした絵本です。続編が2冊。

県立図書館では、学校などでの読み聞かせの方法について、「よみきかせ相談会」を実施しています。

子ども室カウンターでも、ご質問などをお伺いしています。



発行：福井県立図書館子ども室
(2018.3発行)

〒918-8113 福井市下馬町 51-11
Tel. 0776-33-8860

福井県 図書館

検索